

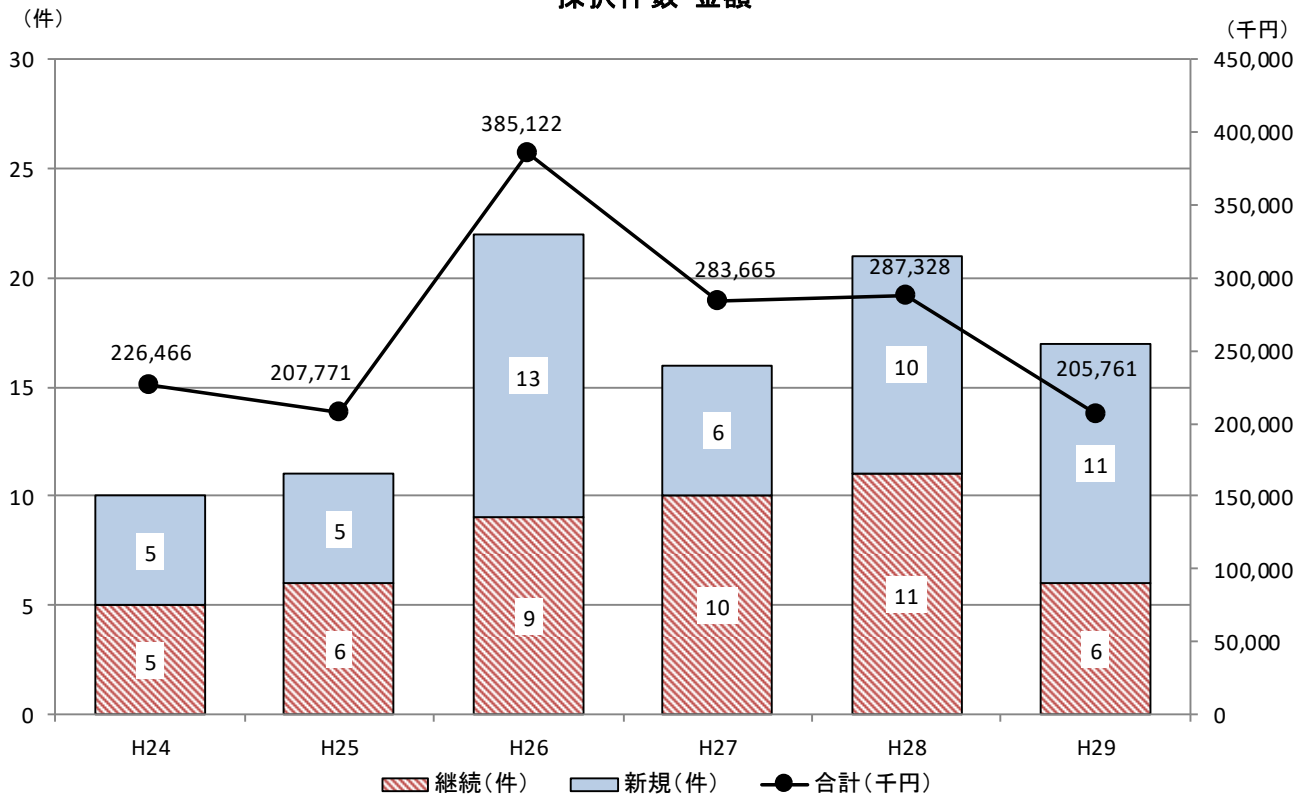
# 9 教育

## 9-1 教育補助金等プログラム

○ 新規採択プログラム一覧

年度	新規 件数	プログラム・事業名	取組名称	部局名
H24	5	次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構
		ポストドクター・キャリア開発事業	ポストドクター・キャリア開発事業(大阪市立大学・)	21世紀科学研究機構
		大学間連携共同教育推進事業(文部科学省)	教学評価体制(IRネットワーク)による学士課程教育の質保証	高等教育推進機構
		産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(文部科学省)	産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実	人間社会学部
		がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(文部科学省)	7大学連携先端的がん教育基盤創造プラン(近畿大学)	看護学研究科
H25	5	次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構
		「域学連携」地域活力創出モデル実証事業(総務省)	若年者の育成を通じた将来の担い手づくりと地域力向上(新宮市、大阪市立大学)	人間社会学部
		教員講習開設事業費等補助金(文部科学省)	免許状更新講習障害者支援事業	高等教育推進機構
		リーディング大学院構築事業費(文部科学省)	システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム	工学研究科、生命環境科学研究科、理学系研究科
		地(知)の拠点整備事業(文部科学省)	大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践	地域連携研究機構
H26	13	グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)(文部科学省)	地域産学官連携型持続イノベーション・エコシステム 拠点: 科学技術駆動型イノベーション創出プレイヤー養成プログラム	21世紀科学研究機構
		課題解決型高度医療人材養成プログラム(文部科学省)	在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成	総合リハビリテーション学類
		大学教育再生加速プログラム(AP)(文部科学省)	(I・II複合型)	高等教育推進機構
		産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(文部科学省)	【テーマB】地域インターンシップの体制構築を通じたキャリア教育の充実	教育福祉学類
		次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構
		女子中高生の理系進路選択支援プログラム(科学技術振興機構(JST))	第9回 女子中高生のための「関西科学塾」	地域連携研究機構
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース): 5件	理学系研究科、工学研究科、現代システム科学域
		若者のためのライフデザイン支援事業(若者層男女共同参画啓発事業)(大学コンソーシアム大阪/大阪市)	結婚・出産・子育てしても、仕事を続けて活躍したい! ~社会人の先輩に学ぼう! ~	女性研究者支援センター
医工連携事業化推進事業(総合特区調整費)(経済産業省・近畿経済産業局)	関西イノベーション国際戦略総合特区における医療機器等開発支援体制の構築に向けた非臨床試験ニーズ等の調査	獣医臨床センター		
H27	6	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)(文部科学省)	わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築(幹事校: 和歌山大学)	COC事務局
		科学技術人材育成費補助事業(文部科学省・科学技術振興機構(JST))	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(旧女性研究者研究活動支援事業)【特色型】	ダイバーシティ研究環境研究所
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース): 2件、(Bコース): 1件	工学研究科、看護学研究科、現代システム科学域
		教員講習開設事業費等補助金交付申請書(文部科学省)	免許状更新講習障害者支援事業	高等教育推進機構
H28	10	次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携室
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース): 7件、(Cコース): 2件	工学研究科、生命環境科学研究科、看護学研究科、総合リハビリテーション学研究科、人間社会システム科学研究科、現代システム科学域、放射線研究センター
H29	11	研究拠点形成費等補助金・先端的医療イノベーション人材養成事業(文部科学省)	7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン(近畿大学)	看護学研究科
		科学技術人材育成費補助事業(文部科学省・日本学術振興会)	卓越研究員事業	研究推進課
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース): 7件、(Cコース): 1件	現代システム科学域、生命環境科学研究科、理学系研究科、人間社会システム科学研究科、看護学研究科、放射線研究センター
		次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)(文部科学省)	多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム	高等教育推進機構

### 採択件数・金額



#### ○件数・実績額の推移

(件・円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	新規件数合計	
事業件数	新規	5	5	13	6	10	11	50
	継続	5	6	9	10	11	6	
	合計	10	11	22	16	21	17	金額合計
実績額	新規	35,588,713	67,049,247	155,868,481	21,163,553	20,234,962	48,637,355	348,542,311
	継続	190,878,271	140,722,127	229,254,133	262,501,525	267,093,887	157,124,057	1,247,574,000
	合計	226,466,984	207,771,374	385,122,614	283,665,078	287,328,849	205,761,412	1,596,116,311

※) 表は教育等補助金のみを掲載。研究推進課及び高専が担当する補助金・受託事業等を除く(以下同様)。

#### ○申請件数・採択件数・採択率の推移

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
申請件数	10	8	18	19	18	14	87
採択件数	5	5	13	6	10	10	49
採択率	50.0%	62.5%	72.2%	31.6%	55.6%	71.4%	56.3%

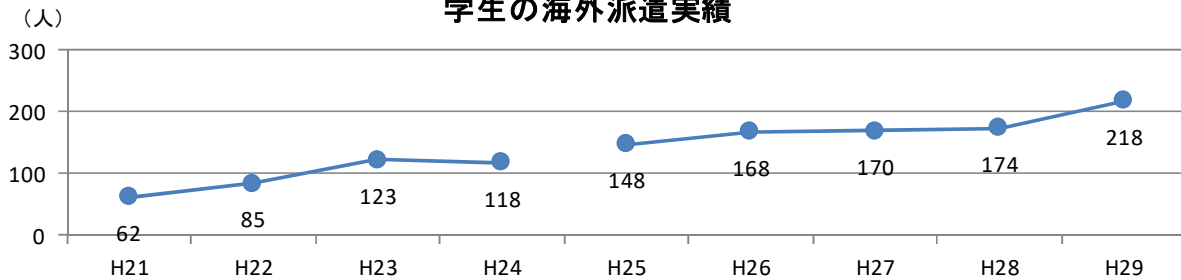
#### ○新規採択事業の規模(金額)内訳

採択事業の分類	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
1億円以上	1						1
5,000万円以上		1	1				2
1,000万円以上			2	1		1	4
501万円以上	1	2				1	4
101～500万円	2		8	4	10	9	33
0～100万円以下	1	2	2	1			6
合計	5	5	13	6	10	11	50

※) 各年度の新規採択事業の交付内定額を分類。空欄は該当なし。

## 9-2 学生の海外派遣

### 学生の海外派遣実績



※) 平成21年度～平成24年度は全学生対象のもののみ。平成25年度以降はそれ以外のものも含むため、グラフを分けている。

○学域・学部・研究科別学生の海外派遣数(平成29年度)

(人)

学域・学部・研究科		長期 交換留学	短期 研究留学	語学研修等	その他の海外 プログラム	合 計
学域	現代システム科学域	3	0	23	35	61
	工学域	1	0	16	1	18
	生命環境科学域	1	1	17	11	30
	地域保健学域	0	0	10	19	29
研究科	工学研究科	3	8	4	31	46
	生命環境科学研究科	0	1	0	6	7
	理学系研究科	0	3	2	6	11
	経済学研究科	0	0	0	0	0
	人間社会システム科学研究科	0	1	0	11	12
	看護学研究科	0	0	0	4	4
	総合リハビリテーション学研究科	0	0	0	0	0
合 計		8	14	72	124	218

○学年別学生の海外派遣数(平成29年度)

(人)

学年		長期 交換留学	短期 研究留学	語学研修等	その他の海外 プログラム	合 計
学域・学部	1年	1	0	38	1	40
	2年	0	0	21	41	62
	3年	3	0	6	19	28
	4年	1	0	1	5	7
	獣医5年	0	1	0	0	1
	獣医6年	0	0	0	0	0
研究科	博士前期・修士課程1年	3	5	2	11	21
	博士前期・修士課程2年	0	4	2	25	31
	博士後期・博士課程1年	0	1	0	8	9
	博士後期・博士課程2年	0	1	1	12	14
	博士後期・博士課程3年	0	2	1	2	5
合 計		8	14	72	124	218

※1) 長期交換留学: 学術交流協定校等に交換留学した者の人数、主に半年以上。(全学生対象、及び研究科、学部・学域単位で実施しているもの)なお、「トビタテ! 留学JAPAN」等の奨学金採用者の休学留学者も含む。

※2) 短期研究留学: 短期研究留学をした主として大学院生の人数、主に1ヶ月以上。(全学生対象、及び研究科、学部・学域単位で実施しているもの)

※3) 語学研修等: 語学研修(単位有)、海外プログラム(単位認定無し)(全学生対象)に参加した者の人数、主に1ヶ月未満。

※4) その他の海外: プログラム上記①～③以外で、研究科・学部、学域単位で実施している海外プログラムに参加した者の人数、主に1ヶ月未満。

※5) ※1～※4の派遣先は学術交流協定校以外も含む。

※6) その他、語学研修等に高専専攻科学生2名が参加

### 9-3 インターンシップ

○インターンシップ科目単位認定者数(平成29年度) (人)

学域・学部・研究科	科目数	受講者数		主な実習先
			単位 修得者数	
現代システム科学域	7	35	35	官公庁、団体・企業、海外
工学域	10	15	15	団体・企業
生命環境科学域	4	26	24	官公庁、団体・企業
地域保健学域	2	17	17	官公庁、団体・企業、海外
工学部	9	1	1	団体・企業
生命環境科学部	5	0	0	-
人間社会学部	5	0	0	-
工学研究科	9	17	17	団体・企業
生命環境科学研究科	1	3	2	団体・企業
合 計	52	114	111	

○インターンシップ参加者数(平成29年度) (人)

学域・学部・研究科	参加者数	主な実習先
現代システム科学域	20	NPO、官公庁、団体・企業
工学域	2	官公庁、団体・企業
生命環境科学域・学部	13	官公庁、団体・企業
地域保健学域	3	官公庁、団体・企業
工学研究科	4	官公庁、団体・企業
人間社会システム科学研究科	1	官公庁、団体・企業
合 計	43	

※) 学生課キャリアサポート室把握分

### 9-4 高度人材育成プログラム

○博士前期課程対象(平成29年度) (人)

研究科	TEC受講者数	
		単位 修得者数
工学研究科	359	354
生命環境科学研究科	80	78
理学系研究科	4	4
経済学研究科	0	0
人間社会システム科学研究科	31	26
看護学研究科	0	0
総合リハビリテーション学研究科	2	2
大阪市立大学生	2	2
合 計	478	466

○博士後期課程対象(平成29年度)

(人)

研究科	TEC-I 受講者数		TEC-II 受講者数		TEC-III 受講者数		TEC-IV 受講者数		(参考)※ TEC-IV グループ 構成員数
	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数		
工学研究科	3	3	34	33	2	2	0	0	0
生命環境科学研究科	2	2	17	17	2	2	0	0	0
理学系研究科	0	0	7	5	1	1	0	0	0
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間社会システム科学研究科	0	0	7	7	0	0	0	0	0
看護学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合リハビリテーション学研究科	0	0	12	9	0	0	0	0	0
合計	5	5	77	71	5	5	0	0	0

※) TEC-IVはグループ演習のため、受講者とは別にグループ構成員として講義に参加した学生を掲載。

<p><b>OTEC-I : ビジネス企画特別演習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス企画書作成に向けた演習形式のグループダイアログとプレゼンテーションを实践</li> <li>・企業経験者によるマンツーマンの指導</li> </ul>
<p><b>OTEC-II / TEC-II A ~ H : 産学連携特別演習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MOT(Management of Technology) の基礎及び企業研究者に必要な素養を学びキャリアパスを開拓</li> <li>・現役企業経営者等から産業界から講師陣を招聘</li> <li>・博士前期課程では、TECという名称で同様の講義を開講</li> </ul>
<p><b>OTEC-III : 企業研究特別演習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月以上のインターンシップによる企業研究実践</li> <li>・事前学習(派遣前講座)を実施</li> </ul>
<p><b>OTEC-IV : 研究リーダー養成特別演習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ型企業実習を通じたリーダーシップ教育</li> <li>・企業研究リーダーに必要なプロジェクトマネジメント能力を実践的に学習</li> <li>・事前学習(派遣前講座)と個別ダイアログ形式の事後学習を実施</li> </ul>

○学生のセミナー参加者数(H29年度)

・インタラクティブ・マッチング (のべ数、人)

研究科等		参加者数
博士 後 期	工学研究科	2
	生命環境科学研究科	0
	理学系研究科	1
	その他研究科(※2)	5
ポ ス ド ク	工学研究科	0
	生命環境科学研究科	0
	理学系研究科	0
	その他研究科(※2)	0

※1) インタラクティブ・マッチングとは、ポストドクター・博士課程学生による自己アピールと企業参加者とのキャリアマッチングのイベント。

※2) その他研究科には大阪市大、兵庫県大を含む。

## 9-5 大学院生の論文発表・学会発表等

○大学院生の論文発表数

(件・人)

研究科	H25			H26			H27			H28			H29		
	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数
工学研究科	409	310	914	422	310	883	425	340	881	361	234	945	350	275	962
生命環境科学研究科	85	51	250	96	76	265	99	73	287	95	75	233	98	55	280
理学系研究科（欧文・査読付のみ）	69	69	219	73	73	231	72	72	214	55	25	214	70	29	191
経済学研究科	4	1	114	19	2	112	6	1	108	14	1	100	7	2	99
人間社会システム科学研究科	68	1	196	52	0	186	43	1	171	90	22	284	79	18	193
看護学研究科	5	0	86	9	1	82	6	0	90	7	0	83	4	4	79
総合リハビリテーション学研究科	32	5	74	19	2	80	31	12	86	31	10	80	21	10	73

○大学院生の学術講演・学会発表数

(件・人)

研究科	H25			H26			H27			H28			H29		
	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数
工学研究科	1,870	495	914	1,927	527	883	1,862	541	881	1,788	378	945	1,712	449	962
生命環境科学研究科	225	25	250	277	34	265	331	30	287	273	37	233	274	11	280
理学系研究科（欧文・査読付のみ）	294	24	219	354	48	231	319	49	214	271	56	214	292	59	191
経済学研究科	6	1	114	13	3	112	11	2	108	16	2	100	12	3	99
人間社会システム科学研究科	75	9	196	36	4	186	57	1	171	116	0	284	99	27	193
看護学研究科	18	3	86	39	3	82	23	5	90	10	1	83	13	4	79
総合リハビリテーション学研究科	82	6	74	80	15	80	101	13	86	89	2	80	55	2	73

○大学院生の学会賞受賞数

(件・人)

研究科	H25			H26			H27			H28			H29		
	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数	件数	国際学会発表数・海外発表数	学生数
工学研究科	118	29	914	112	27	883	136	35	881	173	49	945	148	33	962
生命環境科学研究科	14	1	250	21	2	265	21	4	287	14	3	233	14	0	280
理学系研究科（欧文・査読付のみ）	10	0	219	14	4	231	15	6	214	6	2	214	14	6	191
経済学研究科	0	0	114	0	0	112	1	1	108	0	0	100	0	0	99
人間社会システム科学研究科	2	1	196	1	0	186	2	0	171	3	0	284	8	5	193
看護学研究科	0	0	86	4	0	82	0	0	90	0	0	83	1	0	79
総合リハビリテーション学研究科	3	0	74	2	0	80	4	0	86	0	0	80	1	0	73

※1) 学生数は、各年度5月1日現在。

※2) 人間社会科学研究科は平成28年4月に人間社会システム科学研究科に名称変更した。

## 9-6 学長顕彰(学生)

○年度別表彰者数 (件)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
団体表彰	11	11	18	14	16
個人表彰	131	146	147	183	135
感謝状(団体・個人計)	4	2	1	1	5
合計	146	159	166	198	156

※) 対象となる学生・学生団体

- ・課外活動等で顕著な成績を収めたもの。
- ・ボランティア活動等社会奉仕活動で功績があったもの。
- ・災害防止又は災害時における救援活動に顕著な功績があったもの。
- ・研究活動等において顕著な功績を収めたもの。

## 9-7 ティーチング・アシスタント(TA)

○学生所属別TA採用人数 (のべ数、人)

研究科	H26	H27	H28	H29
工学研究科	328	361	423	367
生命環境科学研究科	125	156	184	170
理学系研究科	132	133	146	145
経済学研究科	10	7	31	31
人間社会システム科学研究科	45	46	97	104
看護学研究科	19	26	23	6
総合リハビリテーション学研究科	10	22	24	19
合計	669	751	928	842

○配置先別TA採用人数 (のべ数、人)

学域・研究科等	H26	H27	H28	H29
現代システム科学域	48	47	96	85
工学域	209	231	257	219
生命環境科学域	160	174	232	226
地域保健学域	41	60	65	39
高等教育推進機構	189	208	238	235
工学研究科	0	4	7	4
経済学研究科	0	0	1	1
人間社会システム科学研究科	12	13	18	17
ラーニングcommons	0	14	14	16
学術情報センター(オープンスペース)	10	0	0	0
合計	669	751	928	842

※1) のべ数のため、複数の科目を担当する場合は複数カウントとなる。試験担当のTAは含まない。

※2) 人間社会科学研究科は平成28年4月に人間社会システム科学研究科に名称変更した。

## 9-8 FD活動

OFD活動実施数(全学教員対象分)

区分		H25	H26	H27	H28	H29
開催回数	FDセミナー	2	3	1	3	5
	大学院FDセミナー	0	0	0	0	0
	その他	4	4	5	3	2
	合計	6	7	6	6	7
参加者	教員	144	196	185	108	269
	職員	14	104	74	20	85
	学生	4	9	24	1	41
	その他	4	8	4		53
	合計	166	317	287	129	448

OFD活動詳細(全学教員対象分)

	区分	全学FDセミナー等タイトル	開催日	参加者
H29	新任教員FD研修	「データから見る府大生の特徴」 「授業を育てる」	H29.4.4	教員17名(内対象教員16名)
		ビデオ研修 「授業におけるICTの活用について」 「教務に関する各種業務について」  (※平成28年度より新任教員FD研修の一部を、録画ビデオの視聴によるビデオ研修にしました。)		
	FDセミナー 「大学教育再生加速プログラム」(AP事業)	「大人数の講義型授業で学生を授業に巻き込むための工夫」	H29.7.21	教員66名 職員6名 外部36名(他大学教職員等)
	FDセミナー (心理統計セミナー) 「大学教育再生加速プログラム」(AP事業)	「アンケートの実施と心理尺度作成の基礎」	H29.8.30	教員39名 職員1名 学生34名
	工学FDセミナー 主催:工学域・工学研究科教育運営委員会	「工学教育でアクティブ・ラーニングを導入し、実践する上で必要なこと」	H29.9.19	教員105名
	高大接続改革講演会 主催:教育推進本部	「『大学入試センター試験』が果たしてきた役割と『大学入学共通テスト』に期待される役割」	H30.2.16	教員28名 職員31名 外部3名(他大学教職員等)
	新任教員向け研修 「授業デザイン研修1」	1「本研修で目指す学習」 2「授業のフレームワークを作る」	H30.2.22	教員7名
その他	・授業ふり返り(授業アンケート) ・一年生調査・卒予修予アンケート・卒業生調査 ・学生FDスタッフ活動	・刊行誌「フォーラム」発行(3回) ・ニュースメール配信(3回)		

注) FD活動とは

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組みの総称。

その内容は多岐にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催など。

平成19年4月1日施行の大学設置基準等の改正により、FD活動の実施が義務化。



# 10 学生支援

## 10-1 授業料減免

○授業料減免件数

(のべ数、人・千円)

区分	H25		H26		H27		H28		H29	
	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生
全学免除	135	56	124	40	170	44	126	60	149	52
半額免除	78	33	77	46	77	40	92	45	87	31
長期履修短縮に係る減免		1		0		0		1		0
災害減免	4	0	4	0	0	0	3	0	1	0
合計	217	90	205	86	247	84	221	106	237	83
減免総額	105,692		93,918		102,408		103,296		101,814	
減免比率	2.43%		2.18%		2.42%		2.46%		2.43%	

※1) 減免審査は半年に1回実施するため、上記件数は前期・後期の減免件数ののべ数である。

※2) 災害減免は、東日本大震災・熊本県に伴う被災者支援に実施した授業料減免である。

※3) 減免比率は減免総額の対授業料総額比を示している。

※4) 平成25年度より成績基準を緩和(上位1/3⇒1/2)し、減額(半額免除)枠を拡充した。

○私費留学生の授業料減免件数

(のべ数、人・千円)

区分	H25		H26		H27		H28		H29	
	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生
全学免除	18	33	31	63	19	64	14	77	17	120
半額免除	21	36	43	67	34	64	42	79	53	80
長期履修短縮に係る減免		0		0		1		0		0
合計	39	69	74	130	53	129	56	156	70	200
減免総額	39,765		39,587		35,229		40,587		54,383	
減免比率	0.93%		0.92%		0.83%		0.97%		1.30%	

※1) 平成25年度までは前期に通常の減免審査を実施。平成26年度以降は学期毎に審査を行っている。

平成23年～25年の件数は通常の減免件数に後期に入学した学生の減免件数を加えたもの。

※2) 減免比率は減免総額の対授業料総額比を示している。

## 10-2 奨学金

○奨学金利用件数(留学生を除く)

(のべ数、件)

奨学団体		H25		H26		H27		H28		H29	
		学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生
貸与	日本学生支援機構奨学金	2,144	791	2,044	718	1,873	627	1,748	632	1,685	589
	無利子(第1種)	1,097	721	1,077	652	1,004	572	939	575	894	538
	有利子(第2種)	1,047	70	967	66	869	55	809	57	791	51
	民間奨学団体等	22	2	19	2	18	1	15	0	13	0
給付	民間奨学団体等	127	37	129	38	134	43	137	41	134	40
合計		2,293	830	2,192	758	2,025	671	1,900	673	1,832	629
利用率		37.0%	44.8%	35.9%	41.2%	34.0%	36.5%	32.5%	35.4%	31.4%	33.5%

※1) 民間団体のうち、一部貸与のある奨学金は給付に算入。

※2) 日本学生支援機構(第1種・第2種)の奨学金と民間奨学団体等の奨学金を重複して利用する学生がいるため、のべ件数を掲載。

※3) 利用率は、件数を各年度5月1日現在の学生数で割ったもの。

## ○留学生の奨学金利用件数

(のべ数、件)

奨学団体	H25			H26			H27			H28			H29		
	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等
文部科学省 (国費留学生)	1	13	5	0	19	7	0	25	3	1	26	1	1	20	3
日本学生支援 機構	6	5	1	7	5	0	6	4	0	5	4	0	9	5	0
民間奨学団体等	15	37	0	16	37	0	15	35	0	15	48	0	16	44	0
合 計	22	55	6	23	61	7	21	64	3	21	78	1	26	69	3

## ○博士後期課程特別研究奨励金支給件数

(件・千円)

研究科	H25	H26	H27	H28	H29
工学研究科	97	103	110	108	80
生命環境科学研究科	74	82	69	62	48
理学系研究科	32	27	21	25	20
経済学研究科	9	13	8	12	11
人間社会システム科学研究科	45	50	44	39	43
看護学研究科	3	3	15	14	18
総合リハビリテーション学研究科	28	27	28	24	21
合 計	288	305	295	284	241
支給額	126,781	120,372	106,446	86,365	69,665
支給率	68.0%	68.0%	65.0%	68.0%	61.3%

※1) 博士後期課程特別研究奨励金とは、学生の博士後期課程への進学を促進し、本学の研究活動の高度化・活性化を図るための奨励金である。限度額は年学35万2千円(平成25年度までは、年額50万4千円)。

※2) 人間社会科学研究科は平成28年4月に人間社会システム科学研究科に名称変更した。

## 10-3 学生相談

## ○学生なんでも相談室

(のべ数、件)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
相談件数	2,998	2,429	1,985	2,085	1,971

※) 学生なんでも相談室は、平成19年に設置され、学生を適切な行き先にワンストップで案内する総合案内所の役割を担っている。主な相談内容:履修関係、学内外施設等案内、自転車、落し物・忘れ物など

※) 平成30年度より学生なんでも相談室は廃止、学生なんでも相談窓口となり、学生サポートグループ全体で対応することとなった。

## ○WEB学生サービスセンター(WEBSC)「問い合わせ」

(のべ数、件)

相談内容	H25	H26	H27	H28	H29
教務関係	168	167	162	175	178
学生関係	51	62	36	36	27
その他	101	66	81	193	169
合 計	320	295	279	404	374

※) WEBSCは、文部科学省の平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」採択事業である。「問い合わせ」コーナーは、大学・大学生活に関して、担当がどこか分からなくても、内容についてWEBSCから直接メールにより回答するシステムである。

○学生相談室

(のべ数、件・人)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
相談件数	717	812	913	935	754
心理相談件数	592	614	694	696	528
相談者数	92	98	101	111	144

※) 学生相談室では、学習、進路、交友関係などについて、カウンセラー(臨床心理士)が相談に応じる。件数は面談のみの件数。相談者には保護者、教職員も含む。

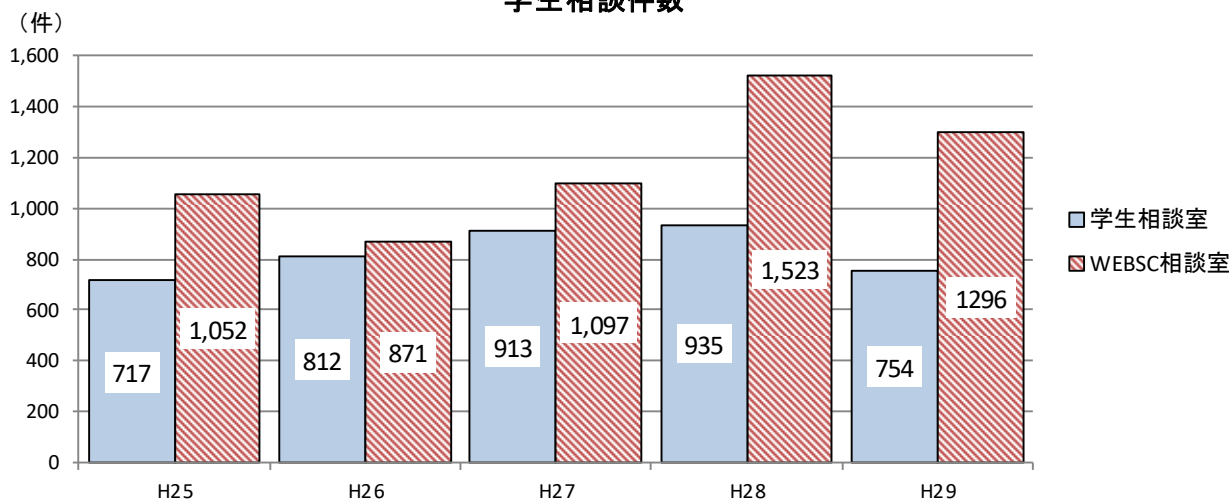
○WEB学生サービスセンター(WEBSC)「心の相談」

(のべ数、件・人)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
相談件数	1,052	871	1,097	1,523	1,296
心理相談件数	1,027	845	1,075	1,511	1,245
相談者数	194	164	182	168	146

※) WEBSC「心の相談」コーナーは、学生生活や将来の不安、異性、友人関係の悩み等様々な問題についてカウンセラー(臨床心理士)に相談できる。学生だけでなく、保護者からの相談も受け付けている。相談件数は、メール相談、テレビ電話、対面相談の合計件数。相談者には教職員も含む。

学生相談件数



○アクセスセンター

(のべ数、人)

区分	H27	H28	H29
相談件数	5,160	8,092	7,148

注) アクセスセンターは、大学生活を送る中でなんらかの不自由さを感じている学生本人や周囲の学生・教職員からの相談にコーディネーター(社会福祉士・精神保健福祉士)が応じている。平成27年に設置。

## 10-4 後援会・校友会

○大阪府立大学後援会

学生生活の向上と大学の発展に寄与することを目的とした、学生の保護者を主な会員とする組織。主な事業として、学生の課外活動、福利厚生や就職活動に対する支援、教育研究環境の整備に対する支援、国際交流活動に対する支援などを実施している。(会員数約5,500人)

○大阪府立大学校友会

卒業生に加えて、在学生、教職員(退職者を含む)及び本会の賛助者を会員とし、会員相互の親睦と交流はもとより、大学と会員の密接な連携とコミュニケーションを促進し大学へ積極的な支援を行うことを目的に、平成21年9月、各学部・学科等(前身校を含む)の同窓会の連合体であった大阪府立大学同窓会を発展的に改組して発足した。(会員数約91,300人)

# 1 1 卒業・就職等

## 11-1 学位授与者数

○所属別学位授与者

(人)

学域・学部・研究科		H25	H26	H27	H28	H29	累計(H17~)
学域・学部	現代システム科学域			286	309	292	887
	工学域			456	460	431	1,347
	生命環境科学域			257	248	313	818
	地域保健学域			237	261	269	767
	工学部	415	448	50	14	4	3,086
	生命環境科学部	169	189	43	47	3	1,226
	理学部	138	138	12	4	2	915
	経済学部	263	289	32	7	2	1,867
	人間社会学部	210	209	22	8	2	1,588
	看護学部	126	124	9	2	0	876
	総合リハビリテーション学部	79	79	2	1		520
合計	1,400	1,476	1,406	1,361	1,318	13,897	
博士前期・修士	工学研究科	386	372	351	354	414	3,962
	生命環境科学研究科	75	67	81	90	89	940
	理学系研究科	79	94	90	89	84	946
	経済学研究科	39	37	33	33	35	455
	人間社会学研究科	42	41	40	37	4	411
	人間社会システム科学研究科					56	56
	看護学研究科	18	19	22	25	18	274
	総合リハビリテーション学研究科	12	17	15	20	11	171
	合計	651	647	632	648	711	7,212
博士後期・博士	工学研究科	32	32	34	42	41	336
	生命環境科学研究科(3年制)	7	9	5	9	14	88
	生命環境科学研究科(獣医学専攻)	6	9	10	15	7	78
	理学系研究科	11	10	7	6	6	71
	経済学研究科	0	0	3	4	2	24
	人間社会学研究科	8	6	7	13	6	71
	看護学研究科	4	5	7	7	4	42
	総合リハビリテーション学研究科	1	3	4	4	11	33
	合計	69	74	77	100	91	743
論文博士	工学研究科	0	2	1	0	1	27
	生命環境科学研究科	2	4	1	2	3	64
	理学系研究科	1	1	2	2	3	14
	経済学研究科	0	0	1	0	0	6
	人間社会学研究科	0	3	1	0	0	10
	看護学研究科	0	0	0	0	0	0
	総合リハビリテーション学研究科	0	0	0	1	0	1
	合計	3	10	6	5	7	122

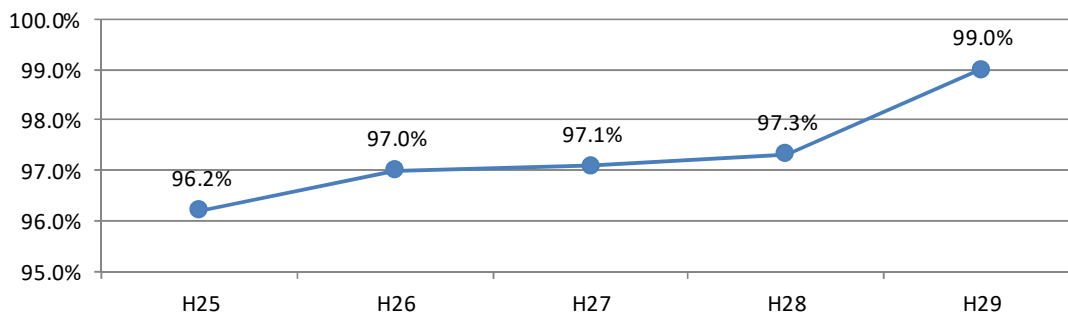
※1) 平成17年4月に、大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学が再編・統合し、新大学となった。「累計(H17~)」欄では、平成17年以降に新大学に入学し本学を卒業・修了した学生数を示している。

※2) 平成24年に学部を学域に改組したため、平成27年度から学域の卒業生を輩出する一方、学部の卒業生は6年制の獣医学科の学生や留年生のみとなったため数が少なくなっている。総合リハビリテーション学部は平成29年3月に在籍者数が0となったため、平成28年度末で廃止。

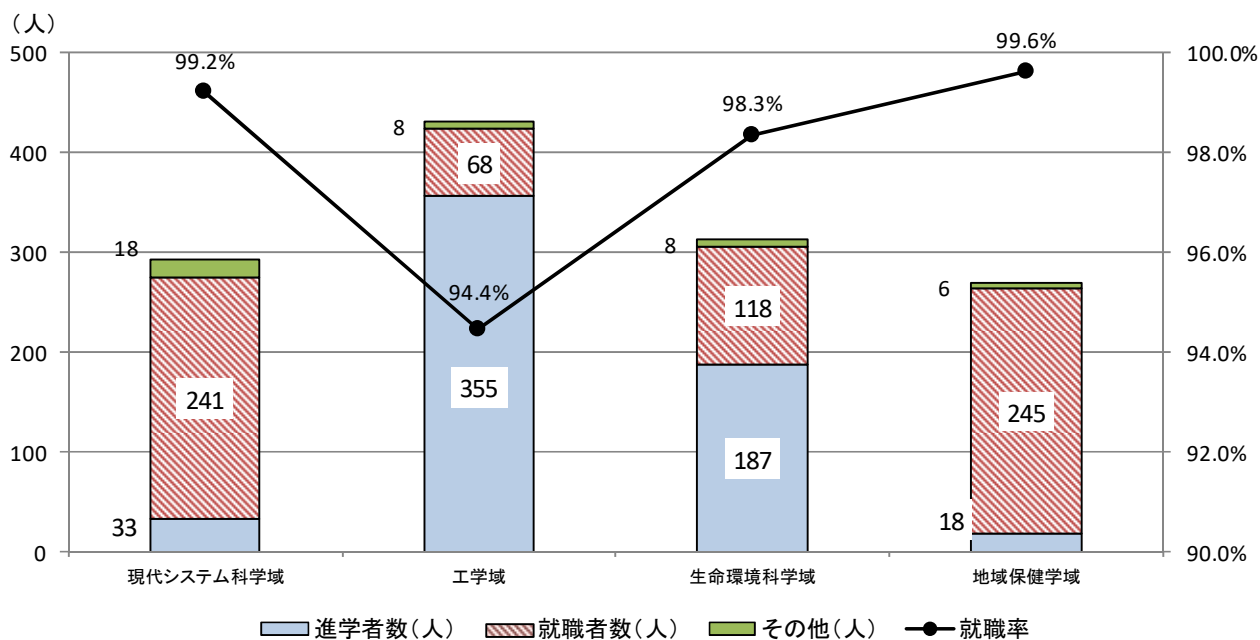
※3) 平成28年度に人間社会学研究科から人間社会システム科学研究科に名称変更。平成27年度以前から在籍している者は人間社会学研究科修了、平成28年度以降に入学した者は人間社会システム科学研究科修了となる。

## 11-2 就職者数(率)・府内就職者数(率)

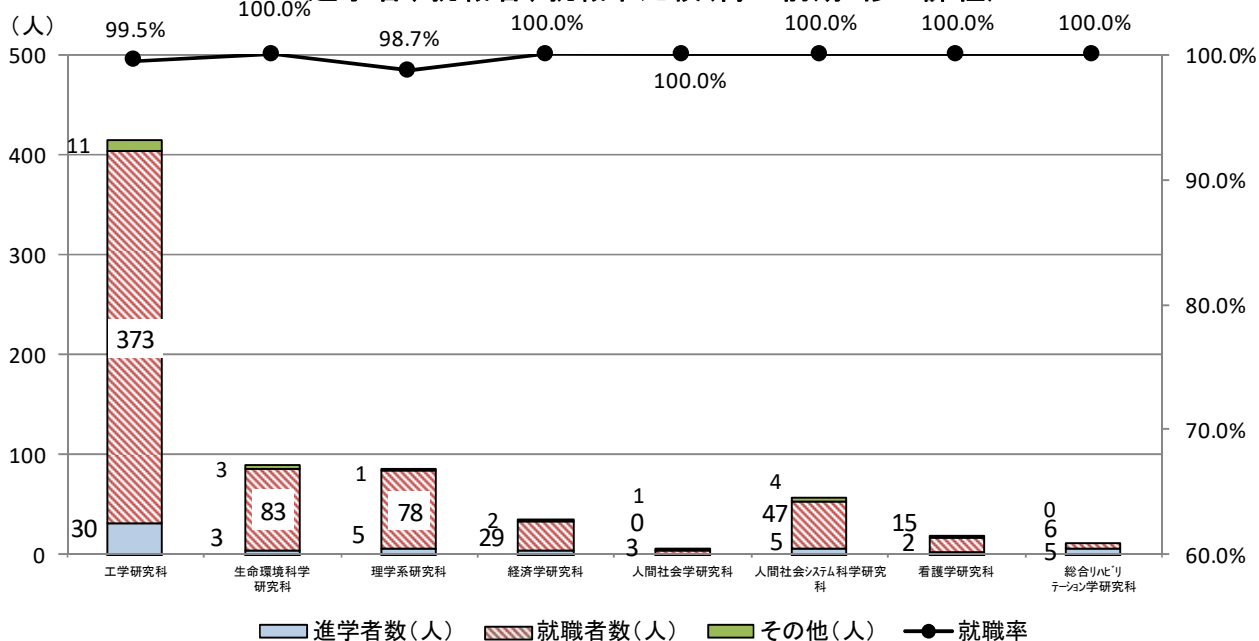
### 就職率(卒業者・修了者合計)



### 進学者、就職者、就職率比較(学域)



### 進学者、就職者、就職率比較(博士前期・修士課程)



## ○就職率内訳(平成29年度)

(人)

学域・学部・研究科	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数		就職率		
				府内就職者数	府外就職者数	府内就職率	府外就職率	
学域・学部	現代システム科学域	292	33	243	241	96	99.2%	39.8%
	工学域	431	355	72	68	20	94.4%	29.4%
	生命環境科学域	313	187	120	118	50	98.3%	42.4%
	地域保健学域	269	18	246	245	176	99.6%	71.8%
	工学部	4	0	4	4	1	100.0%	25.0%
	生命環境科学部(4年制)	1	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	生命環境科学部(獣医学科)	2	0	2	2	1	100.0%	50.0%
	理学部	2	0	2	0	0	0.0%	0.0%
	経済学部	2	0	1	1	1	100.0%	100.0%
	人間社会学部	2	0	2	2	0	100.0%	0.0%
	看護学部	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	総合リハビリテーション学部	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	小計	1,318	593	692	681	345	98.4%	50.7%
博士前期・修士課程	工学研究科	414	30	375	373	112	99.5%	30.0%
	生命環境科学研究科	89	3	83	83	29	100.0%	34.9%
	理学系研究科	84	5	79	78	25	98.7%	32.1%
	経済学研究科	35	4	29	29	23	100.0%	79.3%
	人間社会学研究科	4	0	3	3	3	100.0%	100.0%
	人間社会システム科学研究科	56	5	47	47	24	100.0%	51.1%
	看護学研究科	18	2	15	15	9	100.0%	60.0%
	総合リハビリテーション学研究科	11	5	6	6	6	100.0%	100.0%
小計	711	54	637	634	231	99.5%	36.4%	
博士後期・博士課程	工学研究科	41	0	36	36	15	100.0%	41.7%
	生命環境科学研究科	21	0	20	20	11	100.0%	55.0%
	理学系研究科	6	0	2	2	2	100.0%	100.0%
	経済学研究科	2	0	2	2	1	100.0%	50.0%
	人間社会学研究科	6	0	2	2	1	100.0%	50.0%
	看護学研究科	4	0	4	4	4	100.0%	100.0%
	総合リハビリテーション学研究科	11	0	10	10	7	100.0%	70.0%
小計	91	0	76	76	41	100.0%	53.9%	
合計	2,120	647	1,405	1,391	617	99.0%	44.4%	

※1) 府内就職者数は、本社が大阪府にある企業に就職した本学学生の数。

※2) 就職率(%)=就職者÷就職希望者×100、府内就職率(%)=府内就職者÷就職者×100。

# 11-3 就職先

○就職者3名以上の就職先(平成29年度)

就職先名	就職者数	就職先名	就職者数	就職先名	就職者数
大阪府立病院機構	56	大阪市役所	5	関西医科大学附属病院	3
パナソニック	19	大和証券	5	LIXIL	3
ダイキン工業	18	大阪労災病院	5	アウトソーシングテクノロジー	3
三菱電機	17	ニッタ	4	コーセー	3
大阪府庁	15	ヤフー	4	りそな銀行	3
トヨタ自動車	13	近畿大学医学部附属病院	4	三井住友銀行	3
川崎重工業	12	クラレ	4	村田製作所	3
デンソー	11	近畿大阪銀行	4	大阪ソーダ	3
大阪大学医学部附属病院	11	京セラドキュメントソリューションズ	4	池田泉州銀行	3
堺市役所	9	三菱重工業	4	三洋化成工業	3
大阪府立大学	8	神戸市役所	4	住友精密工業	3
本田技研工業	8	日東電工	4	新日鉄住金ソリューションズ	3
大阪市立大学医学部附属病院	7	日本電気	4	西日本電信電話(NTT西日本)	3
住友電気工業	7	日立造船	4	西日本旅客鉄道(JR西日本)	3
シャープ	6	八尾市役所	4	雪印メグミルク	3
クボタ	6	アイテック阪急阪神	3	全国農業協同組合連合会(JA全農)	3
紀陽銀行	6	エア・ウォーター	3	全日本空輸	3
関西電力	6	オムロン	3	損害保険ジャパン日本興亜	3
日産自動車	6	キヤノン	3	大和ハウス工業	3
パナソニックインフォメーションシステムズ	5	コニカミノルタ	3	東レ	3
ローム	5	シスメックス	3	奈良市役所	3
大阪医科大学附属病院	5	スミセイ情報システム	3	日清オイリオグループ	3
ケイ・オブティコム	5	ソニー	3	日東紡績	3
ダイセル	5	ダイハツ工業	3	日本コルマー	3
神戸製鋼所	5	テルモ	3	日本ユニシス	3
日立製作所	5	トヨタ紡織	3	富士通	3
野村総合研究所	5	ヤマハ発動機	3	和歌山県庁	3
住友ゴム工業	5	ロート製薬	3	和歌山市役所	3

○産業別就職者数(平成29年度)

(人)

区分	就職者数	区分	就職者数	区分	就職者数
A 農業・林業	4	H 運輸業・郵便業	24	O 教育・学習支援業	47
B 漁業	1	I 卸売・小売業	74	P 医療・福祉	216
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	J 金融・保険業	60	Q 複合サービス事業	3
D 建設業	26	K 不動産業・物品賃貸業	15	R サービス業	41
E 製造業	508	L 学術研究・専門・技術サービス業	78	S 公務	82
F 電気・ガス・熱供給・水道業	12	M 宿泊業・印刷サービス業	4	Z その他・不明	44
G 情報通信業	145	N 生活関連サービス業・娯楽業	7	合計	1,391

○企業規模別就職者数(平成29年度)

(人)

従業員数	就職者数	従業員数	就職者数
10,000人以上	232	100~499人	151
5,000~9,999人	127	1~99人	42
1,000~4,999人	275	不明	106
500~999人	105	合計	1,038

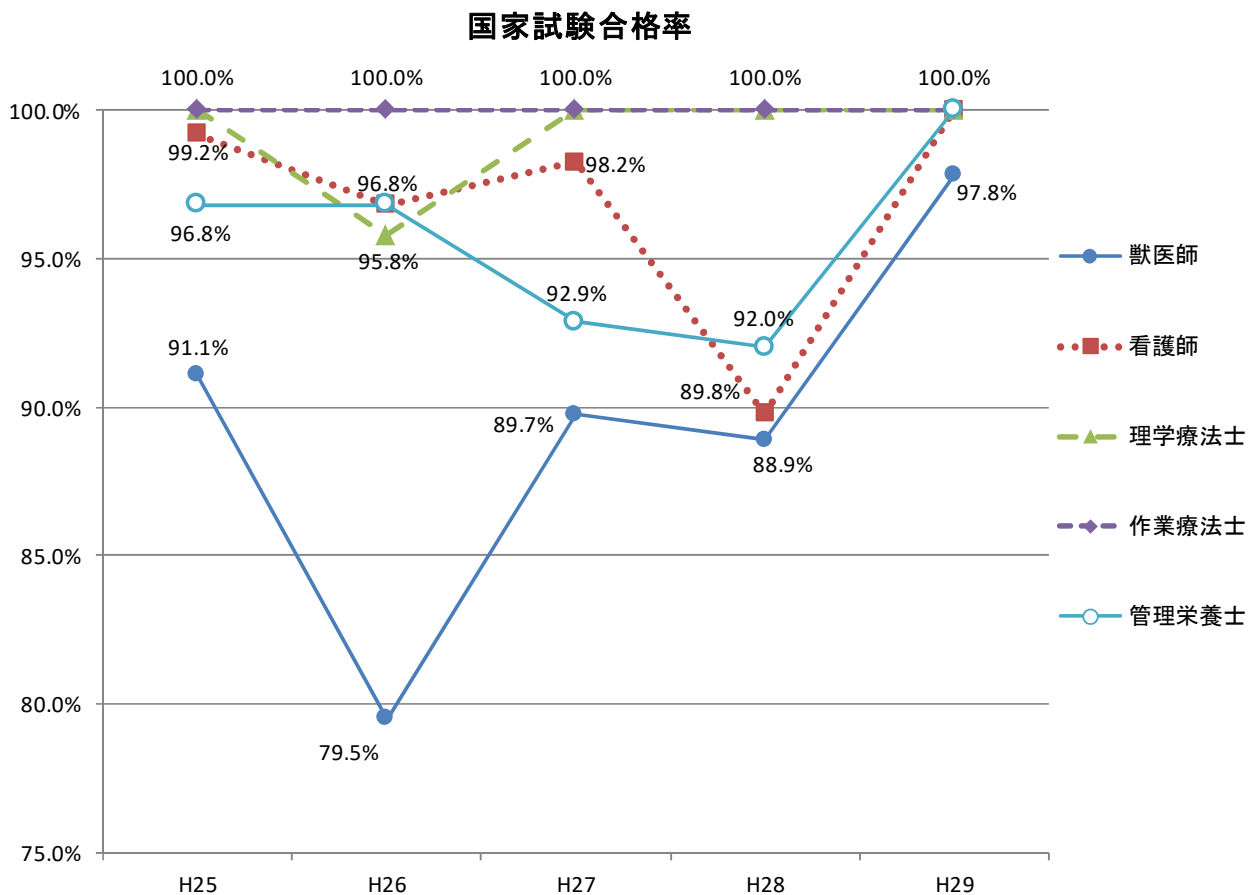
## 11-4 就職支援イベント

○イベント別開催件数・参加企業、学生数

(回・件・人)

就職支援イベント	H27			H28			H29		
	開催回数	参加企業数	参加学生数	開催回数	参加企業数	参加学生数	開催回数	参加企業数	参加学生数
就活スタートアップガイダンス・セミナー	18	—	1,038	6	—	705	23	—	576
仕事理解講座	18	18	654	14	14	321	10	47	369
企業説明会(合同)	23	439	2,972	19	350	3,317	16	219	1,233
インターンシップガイダンス	6	—	418	5	—	645	4	—	248
部局別就職ガイダンス	11	—	339	12	—	311	8	—	129
公務員・教員対策	4	—	164	3	—	170	1	—	67
先輩社会人交流セミナー	2	—	95	2	—	29	2	12	75
保護者向け進路ガイダンス	1	—	214	1	—	124	1	—	221
社会研究関連講座	14	143	971	8	14	654	33	360	1,870
グループディスカッション研修	5	—	136	56	—	541	3	—	123
模擬面接、集団面接	5	—	25				9	—	61
グループワークショップ	50	1	389				15	—	52
筆記試験対策							3	—	53
合計	157	601	7,415	126	378	6,817	128	638	5,077

## 11-5 国家試験合格率





○資格別国家試験合格率(平成29年度)

(人)

区分	獣医師	社会福祉士	看護師	保健師	助産師	理学療法士	作業療法士	管理栄養士
新卒受験者数	45	46	127	25	9	23	25	30
新卒合格者数	44	36	127	24	9	23	25	30
新卒合格率	97.8%	78.3%	100.0%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
全国新卒合格率	96.9%	54.6%	96.3%	85.6%	99.4%	87.7%	83.9%	95.8%
全国合格率(既卒含む)	88.3%	29.2%	91.0%	81.4%	98.7%	81.4%	76.2%	60.8%

## 11-6 教員免許取得状況

○免許状種類別取得者数(学域生)(平成29年度)

(人)

校種	種別	教科	現代システム科学	工学	生命環境科学	地域保健(教育福祉学類)	地域保健(看護学類)	地域保健(総合リハビリテーション学類)	合計
中学校	1種	社会	3			6			9
		数学		5					5
		理科		3	6				9
高等学校	1種	数学		9					9
		理科		8	27				35
		公民	6			2			8
		農業			1				1
		工業		3					3
		情報	1	4					5
		福祉					3		3
養護教諭1種							13		13
栄養教諭1種								7	7
合計			10	32	34	11	13	7	107

## ○免許状種類別取得者数(大学院生)(平成29年度)

(人)

校種	種別	教科	工学	生命環境科学	理学系	経済学	人間社会システム科学	合計
中学校	1種	国語					0	0
		社会				0	0	0
		数学	1		0			1
		理科	0	0	0			0
		英語					0	0
高等学校	1種	国語					0	0
		数学	1		0			1
		理科	0	2	0			2
		地理歴史				0	0	0
		公民				0	0	0
		英語					0	0
		農業		0				0
		工業	1					1
		商業				0		0
		情報	1		0			1
		福祉						0
中学校	専修	国語					1	1
		社会				0	1	1
		数学	1		0			1
		理科	0	1	4			5
		英語					1	1
高等学校	専修	国語					1	1
		数学	1		0			1
		理科	0	1	7			8
		地理歴史				0	1	1
		公民				0	0	0
		英語					1	1
		工業	0					0
		商業				0		0
		情報	0		1			1
		福祉						0
合計			6	4	12	0	6	28

※) 斜線部分は、当該学域・研究科で資格が取得できないもの。

○は、当該学域・研究科において資格が取得できるが、その取得者がなかったもの。